

事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

I 法人の概況

1. 設立年月日等

昭和63年10月1日

平成24年4月1日（公益財団法人へ移行）

2. 定款に定める目的

この法人は、堺市内における中小企業に勤務する勤労者等に対し、総合的な福祉事業を行うことにより、勤労者の福祉の向上を図るとともに、あわせて地域企業の振興及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

(1) 中小企業勤労者等の福利厚生事業

(2) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所轄官庁に関する事項

大阪府総務部法務課

5. 主たる事務所

主たる事務所所在地	堺市堺区田出井町2番1号 堺市立勤労者総合福祉センター内
事務局長	小坂 弘泰
電話番号	072-221-6700

6. 基本財産

(令和3年3月31日現在)

出捐者等	金額	比率
堺市	30,000千円	50.01%
堺商工会議所	2,000千円	3.33%
その他	27,990千円	46.66%
合計額	59,990千円	100.00%

7. 役員等に関する事項

【理事】5名以上10名以内

(令和3年3月31日現在)

役職	氏名	所属団体及び役職名	常勤・非常勤の別
理事長	堀畑 好秀	堺商工会議所 副会頭	非常勤
副理事長	宮田 浩二	公益財団法人堺市勤労者福祉サービスセンター 副理事長	常勤
常務理事	小坂 弘泰	公益財団法人堺市勤労者福祉サービスセンター 事務局長	常勤
理事	岩崎 功一	一般財団法人大阪労働協会 理事	非常勤
理事	砂田 千秋	株式会社CLC 代表取締役	非常勤
理事	平尾 斎次	こくみん共済coop 大阪推進本部 事務局長	非常勤
理事	宮下 鉦二	社会福祉法人野田福祉会 副理事長	非常勤
理事	山根 数豊	太陽パーツ株式会社 課長	非常勤
理事	横山 健	大阪労連 堺労働組合総連合 事務局長	非常勤

【監事】2名以内

(令和3年3月31日現在)

役職	氏名	所属団体及び役職名	常勤・非常勤の別
監事	林 大司	林公認会計士事務所 公認会計士	非常勤
監事	小林 伸行	近畿労働金庫 堺支店 支店長	非常勤

【評議員】5名以上10名以内

(令和3年3月31日現在)

役職	氏名	所属団体及び役職名	常勤・非常勤の別
評議員	奥中 淑子	株式会社マスター 専務取締役	非常勤
評議員	柏 良治	株式会社サンボウ 取締役営業部長	非常勤
評議員	菊地 栄男	大阪府民共済生活協同組合 理事	非常勤
評議員	隈元 英輔	堺経営者協会 専務理事	非常勤
評議員	小西 克治	株式会社小西製作所 代表取締役	非常勤
評議員	勢口 俊彦	株式会社大阪教育研究所 経理課長	非常勤
評議員	奈良 和典	堺市 産業振興局長	非常勤
評議員	野口 徹	堺商工会議所 専務理事	非常勤
評議員	満重 成祥	連合大阪大阪南地域協議会 堺地区協議会 副議長	非常勤
評議員	米澤 邦明	株式会社はり源 代表取締役	非常勤

【顧問】1名

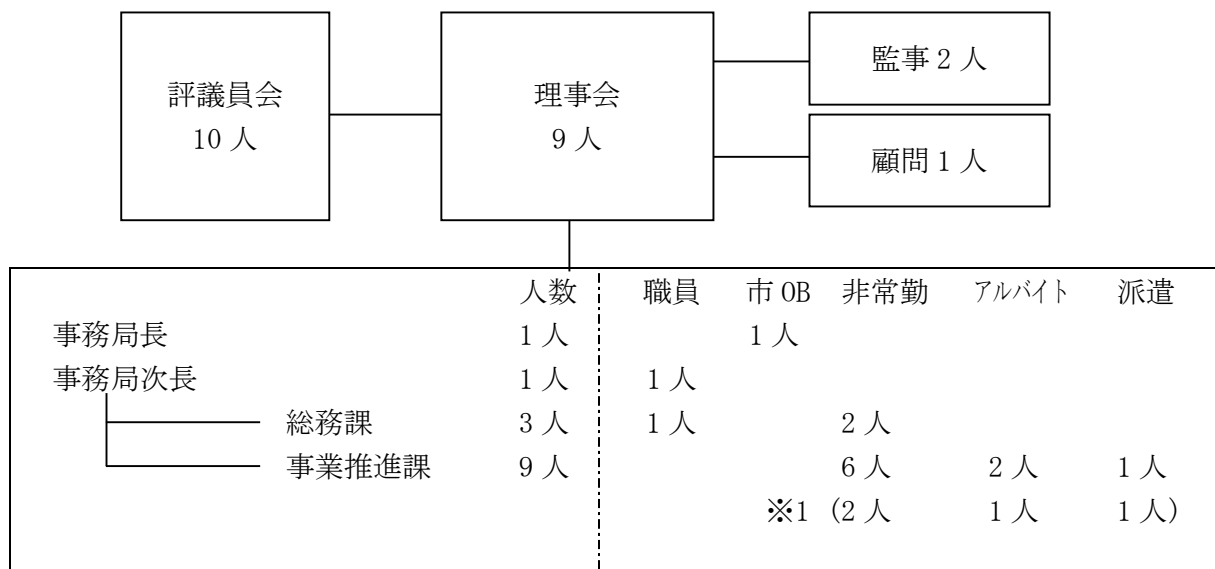
(令和3年3月31日現在)

役職	氏名	所属団体及び役職名	常勤・非常勤の別
顧問	鎌倉 幸信	前 公益財団法人堺市勤労者福祉サービスセンター 副理事長	非常勤

8. 職員に関する事項

(1) 組織図

(令和3年3月31日現在)



(注) 常務理事は事務局長を兼務。

(注) 事務局次長は事業推進課長を兼務。

(注) ※1 括弧は会員拡大担当者の内数。

(2) 職員の状況

(各年度3月31日現在)

区分	令和2年度	令和元年度	前年度末比増減
常勤	3人	3人	—
非常勤	8人	8人	—
アルバイト	2人	3人	△1人
派遣	1人	1人	—
合計	14人	15人	△1人

(注) 常勤職員数はプロパー職員、市派遣職員、市OB職員。

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

当サービスセンターは、昭和 63 年 10 月の設立以来、これまで市内中小企業に勤務する勤労者等に総合的な福祉事業を提供することで勤労者の福祉の向上を図るとともに、地域企業の振興及び地域社会の発展に寄与するべく各種の事業を展開してまいりました。

令和 2 年度の事業運営にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、余暇活動事業における多くの事業に中止、縮小等が生じ、当初計画した内容で実施することが困難となりました。このため、会員及び会員事業所を支援するために会員事業所（小売業、飲食業、サービス業等）の店舗等で利用できる生活応援券を全会員に配付するなど、一部の事業を見直して実施いたしました。また、with コロナの時代に新しい生活様式への対応が求められる中、スマホ決済の拡充を図る等、非接触での対応の実現に努めました。

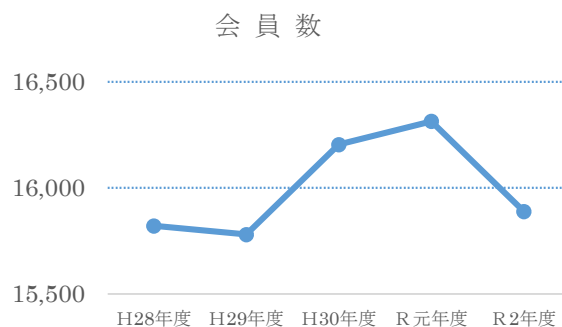
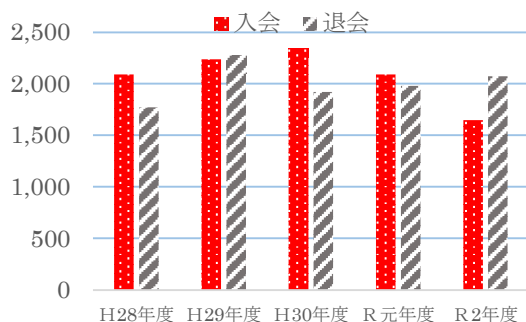
会員の状況は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言下における未加入事業所への訪問自粛や、会員事業所の事業縮小、廃業等により年度末時点における事業所数は前年度に対して事業所数は 53 減の 1,437 事業所、会員数は 426 人減の 15,888 人となりました。

2. 会員の状況

区 分	令和 2 年度末	令和元年度末	前年度末比較増減
会 員 数	15,888 人	16,314 人	△426 人
事業所数	1,437 事業所	1,490 事業所	△53 事業所

【過去 5 年間の会員数の推移】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入会者数	2,088 人	2,237 人	2,343 人	2,088 人	1,647 人
退会者数	1,770 人	2,278 人	1,919 人	1,978 人	2,073 人
増減	318 人	△41 人	424 人	110 人	△426 人
年度末会員数	15,821 人	15,780 人	16,204 人	16,314 人	15,888 人
年度末事業所数	1,497 事業所	1,496 事業所	1,514 事業所	1,490 事業所	1,437 事業所



Ⅲ 中小企業勤労者等の福利厚生事業

公益目的事業 (公1：堺市内勤労者の総合的な福祉の向上を目的とする事業)

収益事業 (収1：広告・物品あつ旋)

その他事業 (他1：祝金給付事業)

堺市内の中小企業に勤務する勤労者に対し、中小企業が単独では実施しがたい福利厚生事業を行うことにより、勤労者福祉の向上を図るとともに、あわせて地域の企業振興及び地域社会の発展に寄与しました。

1. 広報事業 (公1)

会員にガイドブック、ニュース (会報誌)、ホームページ、LINE 等をつうじてサービス内容等の情報を発信しました。また、未加入事業所に対して設立趣旨及び事業内容等について主にDM等で広報活動を行い、加入促進を図りました。

(1) 情報提供

取組	内 容	令和2年度	令和元年度
SCKガイド	事業内容及び利用方法等を記載した冊子を全会員に配布 (4月)	19,500部	19,500部
SCKニュース	イベント等の主催事業、チケットあつ旋などを中心に掲載した会報誌を全会員に配布	年間(7回) 119,600部	年間(10回) 171,200部
新型コロナ対策特別号	会員事業所が運営する飲食店や小売店等で利用できる生活応援券、利用対象施設一覧を掲載した特別号を全会員に配布 (9月)	17,500部	—
SCKチケット	映画館・レジャー施設・スーパー銭湯等の補助券を冊子にした利用チケットを全会員に配布 (4月)	18,500部	前期17,500部 後期17,900部
ホームページ	事業内容・最新情報の掲載、事業周知	319,253アクセス	290,324アクセス
LINE公式アカウント	お友達登録者に最新情報等を配信	3,302人	2,658人

(2) 加入促進関係

内 容	時 期
会員拡大推進員による会員勧誘活動	通 年
未加入事業所紹介者への報奨金支給制度	通 年
未加入事業所へのダイレクトメールの送付	随 時
入会キャンペーン	9～11月
関係機関との連携 (チラシ封入)	随 時
「南海バス」後面ボディ広告 (1台)	通 年
「堺ブレイザーズ」主催試合 会場内垂れ幕	12月
「堺商工会議所報」、地域新聞等へ広告掲載	通 年
ハローワーク・堺市産業振興センター (情報コーナー) にリーフレット配架	通 年
大阪府電気工事工業組合堺支部、青年部 HP にバナー掲載	通 年

2. 慶弔給付事業（公1・他1）

会員のライフステージに応じて、各種祝金、弔慰金、見舞金及び加入年数に応じた永年在会慰労金等を支給しました。

給付の種類	内 容	給付額	令和2年度	令和元年度
結婚祝金	本人	20,000円	221件	247件
結婚記念祝金	25年	10,000円	126件	114件
	50年	10,000円	28件	18件
出産祝金	会員の子が生まれたとき	10,000円	313件	354件
入学祝金	小学校	10,000円	471件	439件
	中学校	10,000円	556件	570件
還暦祝金	本人	5,000円	233件	227件
入院見舞金	10日～29日	10,000円	110件	101件
	30日～49日	30,000円	19件	22件
	50日～	50,000円	29件	37件
障害見舞金	1～3級	90,000円	7件	4件
	4～6級	45,000円	9件	7件
死亡弔慰金	本人	70,000円	23件	17件
	配偶者	30,000円	21件	17件
	実父母	10,000円	298件	252件
	子	30,000円	4件	3件
永年在会慰労金	5年	5,000円	935件	1,021件
	10年	5,000円	566件	499件
	20年	10,000円	162件	209件
	30年	10,000円	87件	133件
合 計			4,218件	4,291件

3. 生活安定事業（公1）

会員とその家族に対して在職中の生活安定を図るため、こくみん共済 coop の各種共済制度、全福ネット入院保険のあっ旋及び無料法律相談を行いました。

内 容		時 期	令和2年度	令和元年度
こくみん共済 coop	「こくみん共済」契約件数	通 年	102件	75件
	「マイカー共済」契約件数		69件	75件
「全福ネット入院あんしん保険」契約件数		通 年	38件	35件
顧問弁護士による無料法律相談件数		通 年	10件	17件
合 計			219件	202件

4. 健康管理事業（公1）

健康の維持・増進を図るため、定期健康診断、人間ドック等の受診及びインフルエンザ予防接種に対し補助を行いました。また、会員の健康増進を図るため、会員制スポーツクラブへ法人加入し会員料金での施設利用券の販売を行うとともに、健康ウォーキング・健康セミナーを企画・実施しました。

内 容		対象期間	令和2年度	令和元年度
健診補助	定期健康診断補助【事業所対象】	通年	8,195人	7,687人
	人間ドック・健康診断補助【個人対象】		788人	826人
予防接種補助	インフルエンザ予防接種補助【個人対象】	10/1～1/31	1,861人	1,332人
スポーツクラブ法人会員（5クラブ）		通年	10,022人	13,828人
合 計			20,866人	23,673人

内 容		開催日	参加人数
健康ウォーキング	大文字山登山 ☒	5/23	中止
	史跡探訪「明智光秀ゆかりの福知山城と城下町を訪ねて」	11/15	19人
健康セミナー	ホットローゲンススタジオPURUMO体験（チケット制）※ ☒	4/15～5/20	中止
合 計			19人

（注）※は、おおきに Net 事業

（注）☒は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う中止事業

5. 余暇活動事業（公1）

余暇活動の充実を図るため、レクリエーション事業の実施、推奨旅行事業や宿泊施設等の利用補助を行いました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により一部事業を変更して実施しました。

（1）主催事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により計画していた多くの事業が中止となりました。唯一、屋外の事業である「マス釣り体験」を実施しました。

内 容		開催日	参加人数
千早川マス釣り体験 ※(99人)		10/4	36人
第56回ボウリング大会（スコアランキング） ☒		9/1～11/23	中止
合 計			1事業 36人 (R元年度：10事業 423人)

（注）※は、おおきに Net 事業。括弧内は事業全体の参加人数

（注）☒は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う中止事業

（2）推奨旅行事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により計画していた事業の多くが中止となりましたが、3ツアーは感染対策を徹底して実施しました。

内 容		開催日	参加人数
<日帰りバスツアー>			
舞鶴 旬のカキ・海の幸ガッツリと赤れんがパーク ☒		4/5	中止

奥伊根・浦島太郎伝説と岩ガキ料理・伊根湾めぐり	7/12	21人
鳥取砂丘・山陰松島遊覧船と二十世紀梨狩り（食べ放題）お土産付き	9/6	17人
近江牛と松茸のすき焼き食べ放題と近江商人の故郷・日野と三輪・大神神社を訪ねる	10/18	30人
志摩観光ホテル「ラ・メール ザクラシック」で海の幸フランス料理に舌鼓 ☑	12/20	中止
城崎温泉「西村屋ホテル招月庭」にてカニ料理と城崎温泉散策 ☑	3/21	中止
南淡路で三年ふぐ会席と鳴門でうちの海やき牡蠣食べ放題 ☑	2/14	中止
合 計		3事業 68人 (R元年度：8事業 317人)

(注) ☑は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う中止事業

(3) チケット方式事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用の多いビアガーデンチケットやホテルバイキングチケット等のあつ旋が中止となりましたが、利用期間の定めがないグルメカードのあつ旋を行いました。

内 容	令和2年度	令和元年度
ジェフグルメカード (5,000円分)	1,677人	1,903人
合 計	1,677人	
	(R元年度：12事業 4,416人)	

(4) 利用補助事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により、会員ニーズの高い味めぐりや多くのイベント、チケットあつ旋事業が中止となりました。このため、会員及び会員事業所を応援する生活応援券の全会員への配布、政府のGo Toトラベル事業を利用した際の補助を実施しました。

内 容	開催日	令和2年度
SCK生活応援券 会員事業所が運営する飲食店や小売店（64店舗）で利用できる 応援券（500円券×2枚）	9/1～10/31	3,299人
Go Toトラベル事業支援対象商品補助 14プラン （会員及び登録家族1,000円補助）	9/1～1/31	56人
TDRコーポレートプログラム利用券 （大阪労働協会事業）	—	25人
合 計		3事業 3,380人 (R元年度：5事業 740人)

(5) 施設利用補助（施設補助・チケットあつ旋）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、プール利用補助券の配布、スポーツ観戦チケットのあつ旋は実施できませんでしたが、ゴルフ場利用補助、SCKチケットの配布、映画等のチケットあつ旋を行い前年の約4割の利用がありました。

内 容	令和2年度	令和元年度
ゴルフ場利用補助券 ゴルフ場（19施設） （プレー費補助（2,000円/回）年度内4回まで）	705枚	727枚

SCKチケット（全会員に配布する施設利用補助券）		
映画館（2館）	1,600枚	2,934枚
レジャー施設（10施設）	1,840枚	5,734枚
スーパー銭湯・スパ（6施設）	12,224枚	19,546枚
味覚狩り（3施設）	218枚	416枚
プール（3施設） ☒	閉鎖	6,807枚
チケットあつ旋		
TOHOシネマズ	2,582枚	5,734枚
コンサート・観劇	28枚	921枚
レジャー・文化施設	326枚	1,925枚
チケットぴあ（アフター5クラブ）取扱チケット	2枚	76枚
スポーツ観戦（プロ野球・Jリーグ・Vリーグ） ☒	あつ旋中止	1,074枚
合 計	19,525枚	45,894枚

（注）☒は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う中止事業

（6）施設利用補助（宿泊補助）

<宿泊補助>

内 容	令和2年度	令和元年度
<旅行社、全国のホテル・旅館等と提携>		
会員・・・1泊2,000円補助（年度内3泊まで）	377泊	1,039泊
登録家族・・・1泊1,000円補助（年度内1人3泊まで）	463泊	1,098泊
合 計	840泊	2,137泊

（注）会員・家族あわせて年度内10泊まで

<宿泊補助（大阪労働協会事業）>

内 容	令和2年度	令和元年度
<かんぼの宿、ハイツ&いこいの村、休暇村、契約4施設>		
会員・・・1泊1,500円補助（年度内3泊まで）	192泊	431泊
登録家族・・・1泊1,000円補助（年度内1人3泊まで）	232泊	392泊
合 計	424泊	823泊

（注）登録家族のみでの利用は不可

（7）職場レクリエーション補助事業

内 容	令和2年度	令和元年度
会員が3人以上参加する社内行事の実施にあたり、1会員1,000円を補助（年度内1回まで） 対象者：先着1,000人	40人 (5事業所)	986人 (37事業所)

（8）他府県等事業所会員特別補助制度

内 容	令和2年度	令和元年度
他府県に営業所等があり、そこに勤務する会員がいる場合に、当該会員に対し、1人500円相当を補助	572人 (25事業所)	568人 (26事業所)


(9) 堺市市民農園補助制度

内 容	令和2年度	令和元年度
フォレストガーデン市民菜園を利用した際に、利用料金の一部を補助（基本料金の5%、上限3,000円）	—	—

(10) サンスクエア堺利用料金補助制度

内 容	令和2年度	令和元年度
会員がサンスクエア堺を利用した際に、利用料金の一部を補助（基本料金の20%、上限年度内10,000円）	14件	14件

(11) SCK 特約店（会員証提示割引施設）

<p>会員証提示による割引利用</p> <p>宿泊・旅行、冠婚葬祭、レジャー施設、風呂・リラクゼーション、スクール、グルメ、生活関連、住宅関連、オフィス関連 等</p>	
--	---

(12) その他

新型コロナウイルス感染症の拡大により、余暇活動分野でのサービス提供が困難となったため、代替としてプロ野球、サッカー、バレーボールの順位予想クイズを実施しました。また、従来のおたのしみクイズを拡大版として実施しました。

内 容	時期等	令和2年度	令和元年度
順位予想クイズ	応募期間		
プロ野球（セリーグ・パリーグ）	7/10～7/24	2人(265人)	—
サッカー（J1リーグ）	7/10～7/24	7人(57人)	
バレーボール（Vリーグ）	11/1～11/13	10人(99人)	
おたのしみクイズ（拡大版）	3回	87人 (1,903人)	—
おたのしみクイズ（通常版）	3回	90人 (1,704人)	102人 (2,626人)
エッシーくんの気持ち ※	9回	90人	90人
投稿コーナー	10回	31人	56人
大阪交響楽団 定期演奏会（招待）	4公演	40人	40人

（注）括弧内は、応募者数

※クイズ落選者から再度抽選をおこない10名にSCKホールパス&ジェガールカード（500円分）を進呈

6. 自己啓発事業（公1）

会員の能力向上、スキルアップ等のために講座受講料の一部を補助し、会員の自己啓発活動を支援しました。

内 容	令和2年度	令和元年度
会員が指定通信講座・指定教育機関の各種講座を受講した際に支払額の10%を補助。	3人	4人

7. 老後生活の安定事業（公1）

中小企業で働く従業員の老後生活の安定を図ることを目的に、国が一部助成する退職金制度「中小企業退職金共済（中退共）」制度への加入あっ旋を行いました。また、老後生活に役立つよう退職準備セミナーを実施しました。

内 容	時期等	令和2年度	令和元年度
退職準備セミナー ※(24人)	12/12	17人	16人
中小企業退職金共済（中退共）制度	通年	272人 (38事業所)	233人 (38事業所)

(注) ※は、おおきに Net 事業。括弧内は事業全体の参加人数

8. 財産形成事業（公1）

会員の計画的な財産づくりを支援するために財形事務を代行しました。

内 容	令和2年度	令和元年度
一般財形	82人	84人
年金財形	12人	14人
住宅財形	1人	—人
合 計	95人 (26事業所)	98人 (24事業所)

9. 広域サービス（公1）

(1) 全福ネット 福利厚生事業

(一社) 全国中小企業勤労者福祉サービスセンター（略称：全福センター）が契約する宿泊施設やレジャー施設等で SCK 会員証の全福ロゴの提示及び協定施設割引券の提出による優待利用、近畿ブロック協議会主催ボウリング大会スコアランキング 等



【令和3年3月31日現在：正会員 204 団体（会員数：約 120 万人）】

(2) 大阪労働協会 福利厚生事業

(一財) 大阪労働協会が契約する宿泊施設やレジャー施設等の優待利用等

・「おおきに Net」

大阪府下 22 の SC がスケールメリットを活かしたサービスを展開するために共通ロゴを作成し、ロゴの提示で労働協会提携施設及び各 SC 提携施設の一部を共同利用



・宿泊補助

1泊につき会員 1,500 円、家族 1,000 円 年度内 1人 3泊まで

・TDR（東京ディズニーリゾート）

法人向けサービスの適用及びコーポレートプログラム利用券（500 円分×4 枚）の配布

・百貨店（高島屋、近鉄百貨店）

お買物優待券の発行またはお買物券の割引購入

・コナミスポーツクラブ法人会員割引

【令和3年3月1日現在：22 団体（会員数：56,297 人）】

10. 収益事業（収1）

会員の豊かな生活を応援するため、またSCKの事業収入を拡大し安定した経営を実現するために、会員向けの商品あつ旋やSCKニュース等への広告掲載、チラシ封入等を実施しました。

（1）購買あつ旋

内 容	令和2年度	令和元年度
家庭常備薬等あつ旋（5月・1月）	847件	1,350件
物品あつ旋（八尾のえだまめ、紀州南高梅、ハム、海産物、おせち、八尾の若ごぼう、エアデザインカード）	1,113件	387件
合 計	1,960件	1,737件

（2）広告掲載等

内 容	令和2年度	令和元年度
SCKニュース広告	16件	17件
SCKガイド・HPバナー広告	7件	9件
SCKニュース発送時のチラシ等の封入	15件	17件
合 計	38件	43件

【収益事業の収益】

内 容	令和2年度	令和元年度
家庭用常備薬等のあつ旋	365,515円	510,107円
物品あつ旋 （八尾のえだまめ、紀州南高梅、ハム、海産物、おせち、八尾の若ごぼう、エアデザインカード）	550,340円	268,480円
SCKニュース広告掲載	530,000円	548,000円
SCKガイド・HPバナー広告掲載	130,000円	213,200円
SCKニュース発送時の封入	1,191,729円	1,353,216円
こくみん共済coop事務手数料	127,155円	134,145円
中退共復託業務手数料	41,580円	19,440円
ユーキャンの紹介手数料	4,890円	—
合 計	2,941,209円	3,046,588円

IV 役員会等に関する事項

1. 理事会

開催日	議案等
令和2年度 通常（第1回）理事会 （開催日：令和2年6月4日） （決議日：令和2年6月4日）	【議案審議】 第1号議案 令和元年度事業報告の件 第2号議案 令和元年度決算報告の件 第3号議案 評議員会へ提出する役員等候補者名簿の件 第4号議案 顧問の選任の件 第5号議案 令和2年度定時(第1回)評議員会の開催の件 【報告事項】 職務執行状況の報告
令和2年度 決議省略による臨時（第2回） 理事会 （提案日：令和2年6月19日） （決議日：令和2年6月19日）	【議案審議】 第6号議案 理事長（代表理事）の選定の件 第7号議案 副理事長（代表理事）の選定の件 第8号議案 常務理事（業務執行理事）の選定の件
令和2年度 臨時（第3回）理事会 （開催日：令和2年8月6日） （決議日：令和2年8月6日）	【議案審議】 第9号議案 民間福利厚生サービスの導入の件 【報告事項】 令和2年度事業内容の一部見直しについて
令和2年度 臨時（第4回）理事会 （開催日：令和2年11月19日） （決議日：令和2年11月19日）	【議案審議】 第10号議案 規程の制定の件 【報告事項】 (1) 職務執行状況の報告 (2) 令和2年度定時(第1回)評議員会の決議事項等について (3) 民間福利厚生サービスの導入について
令和2年度 決議省略による臨時（第5回） 理事会 （提案日：令和3年1月13日） （決議日：令和3年1月18日）	【議案審議】 第11号議案 規程の一部改正の件
令和2年度 決議省略による臨時（第6回） 理事会 （提案日：令和3年2月15日） （決議日：令和3年2月19日）	【議案審議】 第12号議案 規程の一部改正の件

<p>令和2年度 通常（第7回）理事会 （開催日：令和3年3月5日） （決議日：令和3年3月5日）</p>	<p>【議案審議】 第13号議案 令和3年度事業計画の件 第14号議案 令和3年度収支予算の件 第15号議案 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件 第16号議案 評議員会へ提出する新評議員候補者の件 第17号議案 令和2年度臨時（第2回）評議員会の開催の件 【報告事項】 中期経営計画について</p>
<p>令和2年度 決議省略による臨時（第8回） 理事会 （提案日：令和3年3月29日） （決議日：令和3年3月30日）</p>	<p>【議案審議】 第18号議案 令和2年度収支補正予算の件</p>

2. 評議員会

開催日	議案等
<p>令和2年度 定時（第1回）評議員会 （開催日：令和2年6月19日） （決議日：令和2年6月19日）</p>	<p>【議案審議】 第1号議案 令和元年度事業報告の件 第2号議案 令和元年度決算報告の件 第3号議案 理事及び監事の選任の件 第4号議案 評議員の選任の件 【報告事項】 令和2年度通常（第1回）理事会の決議事項等について</p>
<p>令和2年度 臨時（第2回）評議員会 （開催日：令和3年3月19日） （決議日：令和3年3月19日）</p>	<p>【議案審議】 第5号議案 令和3年度事業計画の件 第6号議案 令和3年度収支予算の件 第7号議案 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件 第8号議案 新評議員の選任の件 【報告事項】 (1) 令和2年度臨時（第2回）理事会の決議事項について (2) 令和2年度臨時（第3回）理事会の決議事項等について (3) 令和2年度臨時（第4回）理事会の決議事項等について (4) 令和2年度臨時（第5回）理事会の決議事項について (5) 令和2年度臨時（第6回）理事会の決議事項について (6) 令和2年度臨時（第7回）理事会の決議事項等について</p>

V 経営指標等の推移

(金額単位:千円 以下は四捨五入)

事業年度		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	
① 主な財務指標	貸借対照表	資産合計	303,725	311,450	285,253	266,237	277,849
		負債合計	115,628	113,599	112,039	96,218	96,336
		(うち借入金)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		正味財産合計	188,097	197,851	173,214	170,019	181,513
	正味財産増減計算書	当期一般正味財産増減額	11,236	9,754	△ 24,636	△ 3,195	11,494
		当期一般正味財産増減額－項目A(※1)	11,236	9,754	△ 24,636	△ 3,195	11,494
	収支計算書	当期収入合計	398,948	464,159	458,925	295,838	252,308
		総収入(※2)	398,948	464,159	458,925	295,838	252,308
		当期支出合計	391,340	455,405	456,900	301,458	244,598
		当期収支差額	7,608	8,754	2,025	△ 5,620	7,710
次期繰越収支差額		34,970	43,724	45,749	40,129	47,839	
② 役員等 の状況	会員数(人)	15,821	15,780	16,204	16,314	15,888	
	役員数(人)(※3)	12	11	12	12	11	
	役員報酬総額(※4)	8,700	8,715	8,754	8,390	9,591	
	職員数(人)(※5)	14	13	13	11	11	
	人件費総額(※6)	84,945	85,398	85,696	59,635	52,258	
③ 堺市との取引	市補助金収入	56,720	55,227	53,703	54,275	54,384	
	市受託事業収入	68,400	70,076	69,325	-	-	
	合計	125,120	125,303	123,028	54,275	54,384	
④ 事業別の状況 (資金ベース)	広報事業	事業支出額	16,657	18,008	18,939	18,074	19,563
	慶弔給付	給付件数(件)	4,220	4,072	4,073	4,291	4,218
		事業支出額	39,741	39,571	40,418	39,848	40,205
	健康管理事業	参加・利用延人数(人)	23,060	25,264	24,127	23,693	20,885
		事業収入額	1,709	1,843	1,702	1,416	1,056
		事業支出額	16,598	17,861	17,181	18,727	19,177
	余暇活動事業	参加・利用延人数(人)	62,457	63,775	59,406	55,201	25,923
		事業収入額	31,191	33,964	34,166	35,450	11,112
		事業支出額	53,741	57,602	56,257	56,111	21,857
	収益事業	事業収入額	4,784	3,697	3,844	4,652	7,247
		事業支出額	1,630	728	791	1,549	4,313
	周年事業	事業収入額	-	-	1,388	-	-
		事業支出額	-	-	29,505	-	-
	施設管理運営事業	貸館使用件数(件)	6,697	6,050	5,888	-	-
		講座参加者数(人)	914	878	858	-	-
		コンサート入場者数(人)	-	-	-	-	-
		施設開設25周年記念事業(人)	-	-	66	-	-
		フェスティバル入場者数(人)	1,280	1,290	1,292	-	-
		事業収入額(※7)	50,081	51,653	52,661	-	-
	事業支出額(※8)	80,074	80,352	82,843	-	-	
財産形成事業	財形契約者数(人)	112	102	92	98	95	
	事業収入額	32,972	29,750	27,985	27,597	27,766	
	事業支出額	32,972	29,750	27,985	27,597	27,766	

(※1) 項目A=(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

(※2) 当期収入合計額－借入金収入等(損益に無関係の項目)

(※3) 理事、監事

(※4) 役員に支払われる報酬の総額

(※5) 役員、短期臨時職員及び人材派遣を除く常勤、非常勤、応職職員等

(※6) 役員報酬総額を除く人件費の総額(資金ベース)

(※7) 施設管理運営事業収入+自主事業収入

(※8) 広報事業費支出+施設管理事業費支出+勤労者福祉事業費支出+自主事業費支出

VI 法人の課題と展望

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により景気後退の状況にあります。これに対処するため、各分野においてデジタル技術を活用する動きが活発化するなど、企業の活動や勤労者の働き方は大きく変化し、withコロナの時代における新しい生活様式への対応が課題となっています。

このような状況の下、地域経済を支える中小企業の活動を福利厚生をつうじて支援する当サービスセンターに対しても、勤労者福祉の向上にむけた事業の充実や見直しが求められています。

設立目的である勤労者の福祉の向上とさらなる充実を図るとともに、with コロナの時代に対応したサービスのあり方と円滑な事業運営、適切な経営管理に取り組んでまいります。

民間福利厚生サービス（ベネフィット・ステーション）を導入するなど、サービス内容の拡充に取り組み、常に会員ニーズを敏感に捉えたサービスを展開します。また、コロナ禍における新しい営業スタイルを模索しながら未加入事業所への働きかけを行うとともに、会員事業所に対しては、退会防止のためのきめ細やかな対応を行うことで会員拡大に努め、安定的な会費収入を確保し、健全な財務体質を維持します。

VII 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当事項はありません。